

EBC(Evidence-based Control)研究会ワークショップ 2016のご案内

日 時

2016年9月16日(金) 10時~17時, 第一部の受付開始9時30分, 第二部の受付開始11時45分

場 所

JA ビル 32階 3202・3203 会議室(東京都千代田区大手町1-3-1)

<http://www.zennoh.or.jp/about/group/index.html> を参照下さい。東京メトロ大手町駅利用: 地下1階にてC2b出口が直結, 東京メトロ竹橋駅利用: 4出口から徒歩3分, JR 東京駅利用: 丸の内出口から徒歩15分。

参加申し込み

下記事務局に8月26日(金)までに電子メールにてお願いします。会場規模の関係で、事前申し込みの段階で定員120名になり次第締め切らせて頂きます。ただし、第一部の使える統計解析は定員30名とさせていただきます。ご注意ください。お申し込みの際には、参加セクション(第一部から参加, または第二部から参加)を明記してください。

なお、JAビル入館に際して、ご所属・ご氏名の事前登録が必要なことから、開催当日のお申込みは原則お受けできません。上記要領でお早目にお申込み下さい。

申し込みをされた方には講演要旨(PDF)をダウンロードできる方法を電子メールにてご案内します。印刷して当日ご持参ください。

入館受付

JAビル1階受付(ゲートに向かって一番右の受付)にて、お申し込みされた所属・氏名を教えてください。入館用のセキュリティカードが配布されます。カードを使ってゲートを通過し、エレベーターにて32階の会議室(3202・3203)へお越しください。

参加受付

32階会議室(ワークショップ会場)にて受け付けます。参加費および懇親会費(出席される場合)を徴収させていただきますので、予めご用意をお願いします。

参加費

参加費 2,000円(学生, 大学院生は1,000円)

情報交換会

会場近辺にて17時45分より予定しております。会費は5,000円程度を予定しています。出席ご希望の方は、参加申し込み時にお申し出下さい(定員になり次第締め切らせて頂きます)。

プログラム

10:00 開 会

第一部 使える統計解析

10:00~11:30 超ビギナーのための防除研究デザインと統計解析

田代 暢哉(佐賀県上場営農センター)

これから病害防除研究に取り組む超ビギナーの方, データのまとめ方や統計解析に自信が持てない方, のために, 身に着けておくべき研究デザインと統計解析の基礎のキソについて解説します。参加者の皆さんとのコミュニケーションを図るために, 定員30名とさせていただきます。

—昼食—

第二部 招待講演: 農業現場における役立つエビデンスの作り方・伝え方

12:30~13:15 転炉石グ施用技術の施設園芸の土壤病害に対する現地実証試験

—北海道におけるホクレンの営農支援体制を活用した普及拡大—

丹羽 昌信(ホクレン農業協同組合連合会 農業総合研究所 営農支援センター)

2015年, 北海道においても転炉石グ(商品名: ミネカル粉状2号)施用による土壤pH矯正の結果, ホウレンソウ萎凋病の発病を軽減できることが分かりました。これを機会にホクレンで新設された営農支

援組織を通じ、広く施設園芸の連作障害対策の一環として、転炉スラグの現地実証試験を行っています。今回は、その実用化の可能性と問題点について紹介します。

13:15～13:50 和歌山県下津町におけるカンキツ病害虫、特にチャノキイロアザミウマの効率的な薬剤防除方法
坂田 寛樹(ながみね農業協同組合 しもつ営農生活センター)

和歌山県下津町のミカン園では、チャノキイロアザミウマの被害が多く、薬剤防除で対応してきましたが、その効果は限定的でした。一方、本種の被害は放任園(無防除)で少なく、防除園で多い傾向が認められ、これには天敵の影響があるのではないかと考えました。そこで、天敵に影響の少ない薬剤を選抜し、効率的な防除方法を確立しました。また、かいよう病についても現地での試験から効果的な薬剤を見いだしました。

13:50～14:30 インターネットを活用した病害虫・雑草関連情報の発信
岡元 俊(株式会社 全国農村教育協会)

全国農村教育協会では、農業病害虫・雑草に関連した情報を発信する専用サイト「病害虫・雑草の情報基地」を立ち上げ、インターネット上で無料公開しています。当サイトのPV(ページビュー)数や利用者数、利用端末の推移、またインターネット媒体の特性を紹介し、インターネットを介した情報発信の有用性を考えます。

—休憩—

第三部 ショートトーク:防除技術開発の取り組み

14:40～15:05 トマト葉腐病の有効薬剤の選抜
金谷 寛子(岡山県農林水産総合センター)

15:05～15:30 転炉スラグによる土壌病害の被害軽減効果
岩間 俊太(青森県産業技術センター)

第四部 展着剤のエビデンス

15:30～16:10 展着剤使用についての疑問点に対するエビデンスに基づく回答
川島 和夫(丸和バイオケミカル株式会社)

第五部 新規殺菌剤のエビデンスと使い方

16:10～16:35 卵菌類病害に卓効を示す新規殺菌剤:オキサチアピプロリンの特徴
久池井 豊(デュポン株式会社)

16:35～17:00 イネいもち病に卓効を示す新規殺菌剤:トルプロカルブの特徴
萩原 寛之(三井化学アグロ株式会社)

17:00 閉 会

問い合わせ先: 研究会事務局 東京農業大学農学部植物病理学研究室 根岸寛光 (e-mail:negishi@nodai.ac.jp)

【お知らせ】

ワークショップ前々日の9月14日(水)には、公益社団法人報農会主催のシンポジウム「植物保護ハイビジョン-2016 シンポジウム 変わる農業が抱える諸課題に挑む」(場所:‘北とぴあ’つつじホール(東京都北区王子1-11-1))が、翌9月15日(木)には、一般社団法人日本植物防疫協会主催のシンポジウム「輸出促進戦略と植物防疫」(場所:日本教育会館「一ツ橋ホール」(東京都千代田区一ツ橋2-6-2))が開催されます。